

20240305

日本天文学会代議員総会 (2024年3月9日)  
日本天文学会会員全体集会 (2024年3月11日)

## 26期日本学術会議・分科会報告

- (1) IAU分科会ならびに天文学・宇宙物理学分科会
- (2) 日本学術会議の在り方に関する状況

**2024年3月19日 (火) 12:00-13:00 オンライン報告会を実施【tennet:904】**

# (1) IAU分科会ならびに天文学・宇宙物理学分科会

## 2023年10月より第26期がスタート

会員・連携会員：<https://www.scj.go.jp/ja/scj/member/index.html>

25期から継続：【日本学術会議のより良い役割発揮に向けた取組】

\* 提言の査読プロセス見直し

\* 会員選考に広く推薦を募る

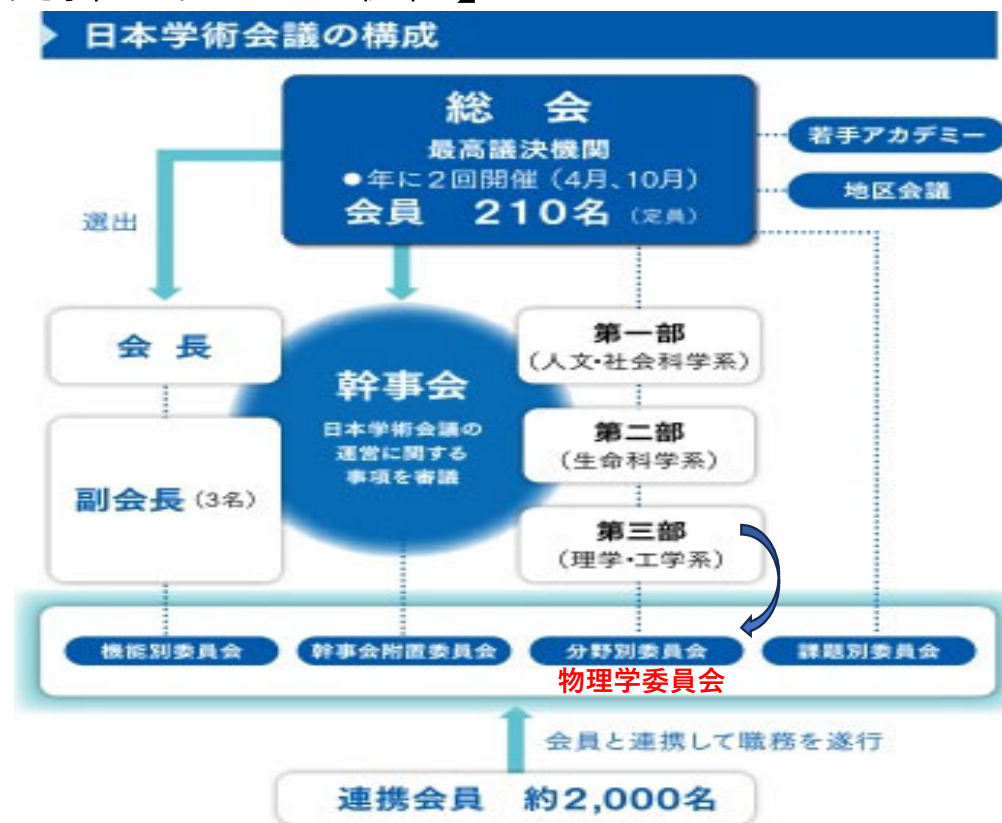
\* 分科会活動の活性化・適正化

など

### <分科会の発足・第1回>

・物理学委員会の下に、IAU分科会ならびに天文学・宇宙物理学分科会が設置・承認

・2023年12月12日の第1回分科会において幹事団と新たな連携会員3名を承認



# (1) IAU分科会ならびに天文学・宇宙物理学分科会 (つづき)

**構成員**：会員3名、連携会員22名 計25名

**委員** (敬称略)：

<天文学・宇宙物理学分野> **奥村幸子** (天宇委員長)、**杉山直**、浅井歩 (天宇副委員長)、生田ちさと (IAU副委員長)、今田晋亮、大朝由美子、梶田隆章、河北秀世、坂井南美、新永浩子、住貴宏、田代信、常田佐久、長尾透、林正彦、深川美里、藤澤健太 (幹事)、山崎典子、山田亨、渡部潤一 (IAU委員長)

<地球惑星科学分野> **倉本圭**、佐々木晶、藤井良一 <素粒子物理学分野> 中畑雅行、村山齐

**オブザーバー**：

(天宇) 国立天文台長、宇宙科学研究所長、東京大学 Kavli IPMU所長、宇宙線研究所長、日本天文学会長、宇電懇・光赤天連・CRC・理論懇・高宇連・太陽研連の代表  
(IAU) 山岡均 (国立天文台)、富田晃彦 (和歌山大学)、清水敏文 (宇宙研)

# (1) IAU分科会ならびに天文学・宇宙物理学分科会 (つづき)

<第2回分科会> 2024年1月29日開催 (遠隔)

## ・天文学・宇宙物理学分科会

(1) 機関報告 (宇宙科学研究所、国立天文台、宇宙線研究所)

(2) 「未来の学術振興構想」について (<https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/kohyo-25-t353-3.html>)

ー19個のグランドビジョンが含まれる。主に18番と19番が本分科会に関係。

ー策定の経緯、方針や公募・評価方法、グランドビジョン決定の経緯説明。

ー26期は科学者委員会の下に学術研究振興分科会を設置。この構想を普及し、内容を精査する活動を行う予定。

## ・IAU分科会

(1) 会員推薦

ー正会員6名、ジュニア会員6名、名誉会員1名を審査、推薦。

(2) IAU活動報告 (APRIM2023、NAEC日本チーム、IAU総会 (南アフリカ) 2024)

## (2) 日本学術会議の在り方に関する状況

- ・「日本学術会議の在り方に関する有識者懇談会」 <https://www.cao.go.jp/scjarikata/kondankai.html>
  - －2023/8/29, 9/6, 9/25 (25期) , 11/2, 11/9, 11/20, 11/30, 12/13, 12/18, 12/21 (26期)
  - －中間報告 (12/21)  
<https://www.cao.go.jp/scjarikata/kondankai/chukanhokoku.pdf>
- ・「日本学術会議の法人化に向けて」 (12/22)  
<https://www.cao.go.jp/scjarikata/20231222houshin.html>
  
- ・日本学術会議の対応 <https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/division-20.html>
  - －会長メッセージ 2023/8/29, 9/8, 9/29 (25期) , 11/10, 11/20 (26期)
  - －臨時総会 声明 2023/12/9  
<https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-26-s190-s.pdf>
  - －臨時総会 アクションプラン骨子 2023/12/9  
<https://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/sokai/siryoy190-5.pdf>
  - －会長メッセージ (最新) 2023/12/22  
<https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/message231222.pdf>

## (2) 日本学術会議の在り方に関する状況

### \* (会長メッセージより)

日本学術会議は、懇談会において設置形態に関わらず、アカデミーに必要な機能について開かれた協議が行われるようはたらきかけ、**中間報告**では声明で掲げた事項を含む懸念点に関して一定の反映がなされた。懸念点の完全な解消に向け、**今後の議論に学術会議として主体的に参画していく。**

### ・ 日本学術会議の対応 (つづき)

－ 会員説明会 2024/2/17

\* **中間報告前文**「今後本報告を踏まえて、政府においては、日本学術会議の意見も聞きながら、**法制化に向けた具体的な検討**が進められるよう期待。日本学術会議においても、引き続き必要な改革を推進しつつ、建設的な議論が進められるよう期待。」

\* **中間報告のポイント**：**会員選考、活動の幅の拡大、財政基盤の充実、事務局機能の強化、ガバナンスの強化**

\* **日本学術会議としての対応**「**日本学術会議のあり方に関するWG**」「**アクションプラン企画WG**」を設置し、前者はあり方に関する制度設計等具体的な検討、後者はアクションプランの詳細を具体化する検討を行い、2024年4月総会にて検討内容を報告。